

9 - 2 中国・四国地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

国土地理院

Geographical Survey Institute

[水準測量 四国西部]

第1図は、宿毛（すくも）市から四国西岸を南北に縦断し瀬戸内海側の今治市に至る路線における水準測量結果である。最近の1998～2007年の約10年間には、八幡浜（やわたはま）市に対して宿毛市付近の沈降が認められる。前回の1990～1998年の約10年間には宿毛市付近の隆起が認められ、前々回の1982～1990年には沈降、前々々回の1978～1982年には隆起（連絡会報第62巻479～480ページ）を示している。

第2図は、四国地方瀬戸内海沿岸の今治（いまばり）市～善通寺市間の水準測量結果である。今回は、今治市に対して善通寺市側隆起の結果である。従来（1978年～2000年頃）、今治市に対して善通寺市側が沈降する傾向があったが、前回（1990～2000年）は約3.5cmと少し大きめで、その反動とも見られる。

第3図は、四国地方東部瀬戸内海沿岸の善通寺市～阿南（あなん）市間路線の水準測量結果である。約8年間の変動量としては小さめである。

第4図は、四国地方足摺岬の付け根付近を半周する宿毛市から四万十市に至る路線の水準測量結果である。従来、足摺岬の付け根付近を中心としたローカルな沈降の傾向が続いていたが、前回の観測では沈降の範囲が四万十市まで広がっていたように見える。今回は、足摺岬の付け根付近を中心としたローカルな沈降の傾向には変わらないが、四万十市に至る路線では、前回とは逆に隆起を示している。

第5図は、四万十市から高知市までの路線の水準測量結果である。約10年間の変動は小さめである。

第6図は、阿南市から高知市までの室戸岬を通る太平洋岸の水準測量結果である。1946年の南海地震の時に隆起した室戸岬周辺（連絡会報第58巻560ページ）が、その後継続的に沈降している。今回の観測では室戸岬（水準点5141）を中心に安芸市から東洋町までの範囲で沈降が見られる。

第7図は、高知市～善通寺市間の上下変動である。最近の約12年間、高知市側が相対的に少し隆起している。

第8図は、水準測量から求めた最近約8年間の不動点に対する四国地方の上下変動である。不動点は宇和島付近の基44である。今回は、不動点近傍の宇和島市から北側の八幡浜市にかけて隆起気味であるため、相対的に四国全体が沈降気味の数値となっている。室戸岬では7cm、足摺岬の付け根では、4cmを超える沈降が見られる。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院, 2004, 中国・四国・九州地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 71, 680-694.
- 2) 国土地理院, 2004, 中国・四国・九州地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 72, 552-574.
- 3) 国土地理院, 2005, 中国・四国・九州地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 73, 569-574.
- 4) 国土地理院, 2005, 中国・四国・九州地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 74, 409-439.
- 5) 国土地理院, 2006, 四国・九州地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 75, 509-516.
- 6) 国土地理院, 2006, 近畿・四国地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 76, 496-509.
- 7) 国土地理院, 2007, 中国・九州地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 77, 413-421.
- 8) 国土地理院, 2007, 中国・九州地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 78, 527-532.

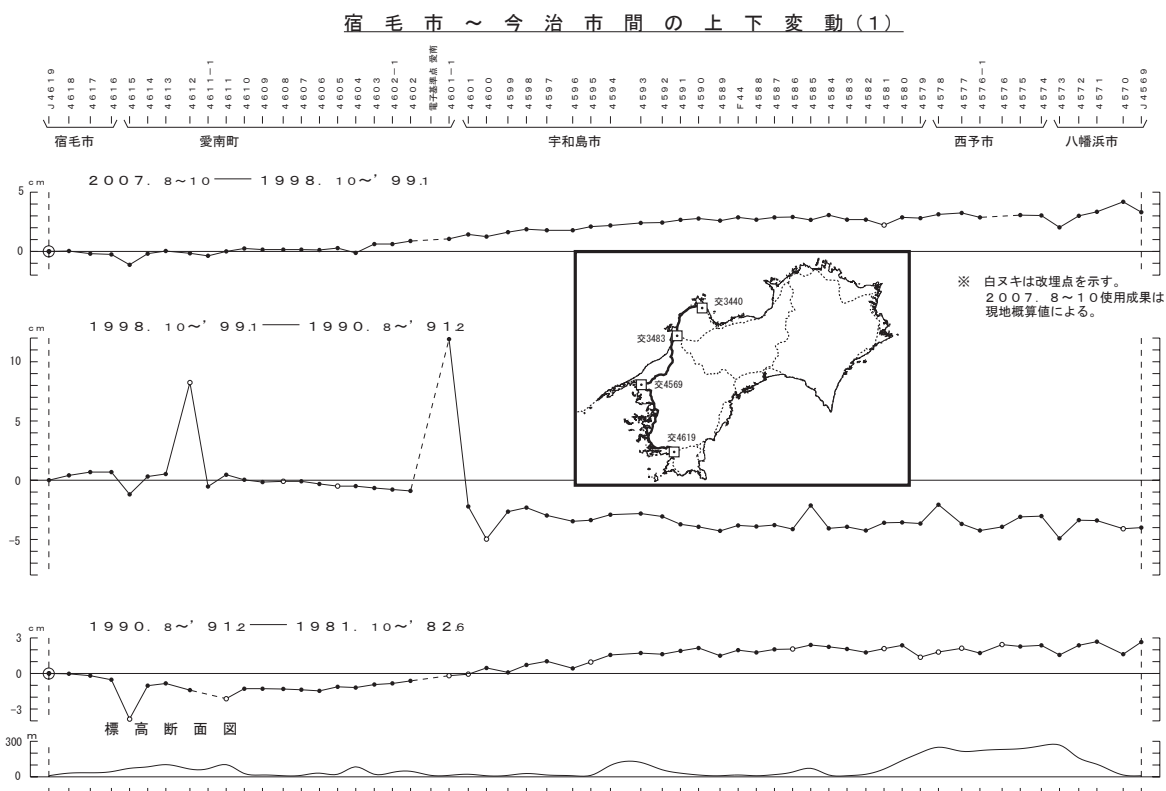


Fig. 1a Vertical crustal movement by precise leveling survey between Inage city and Imabari city (1).

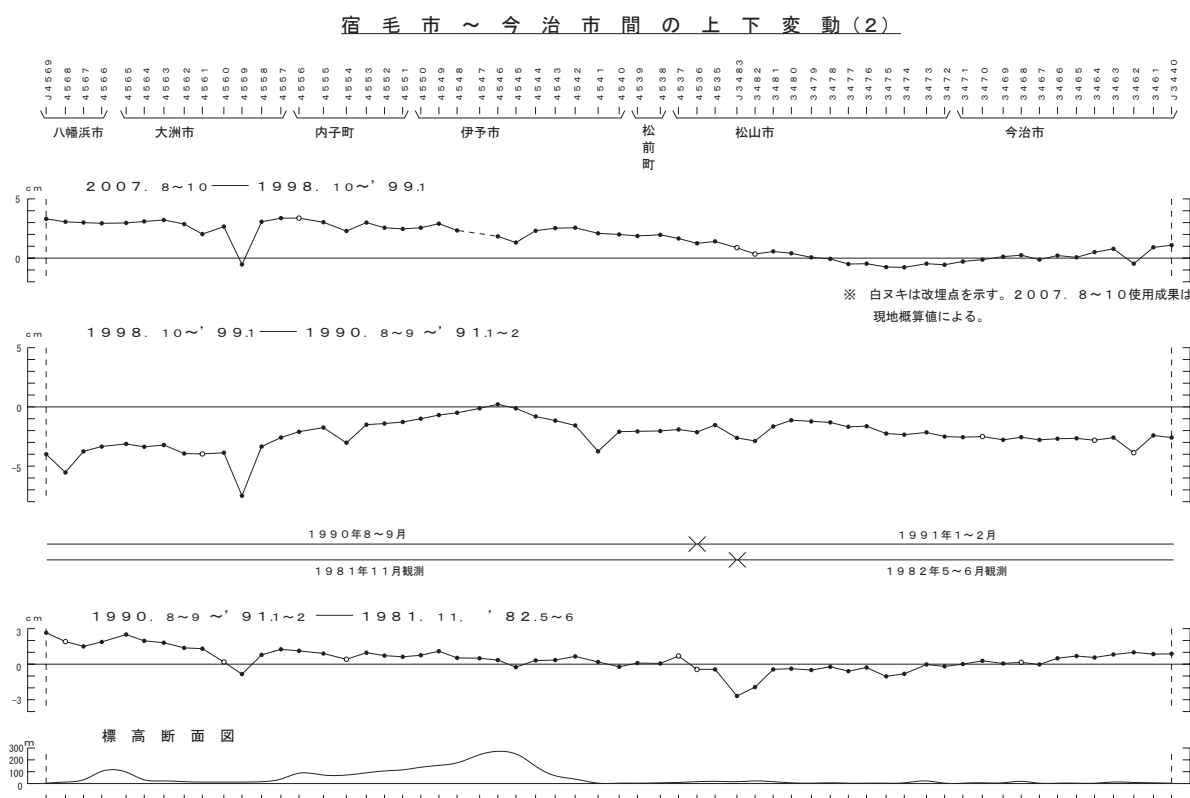
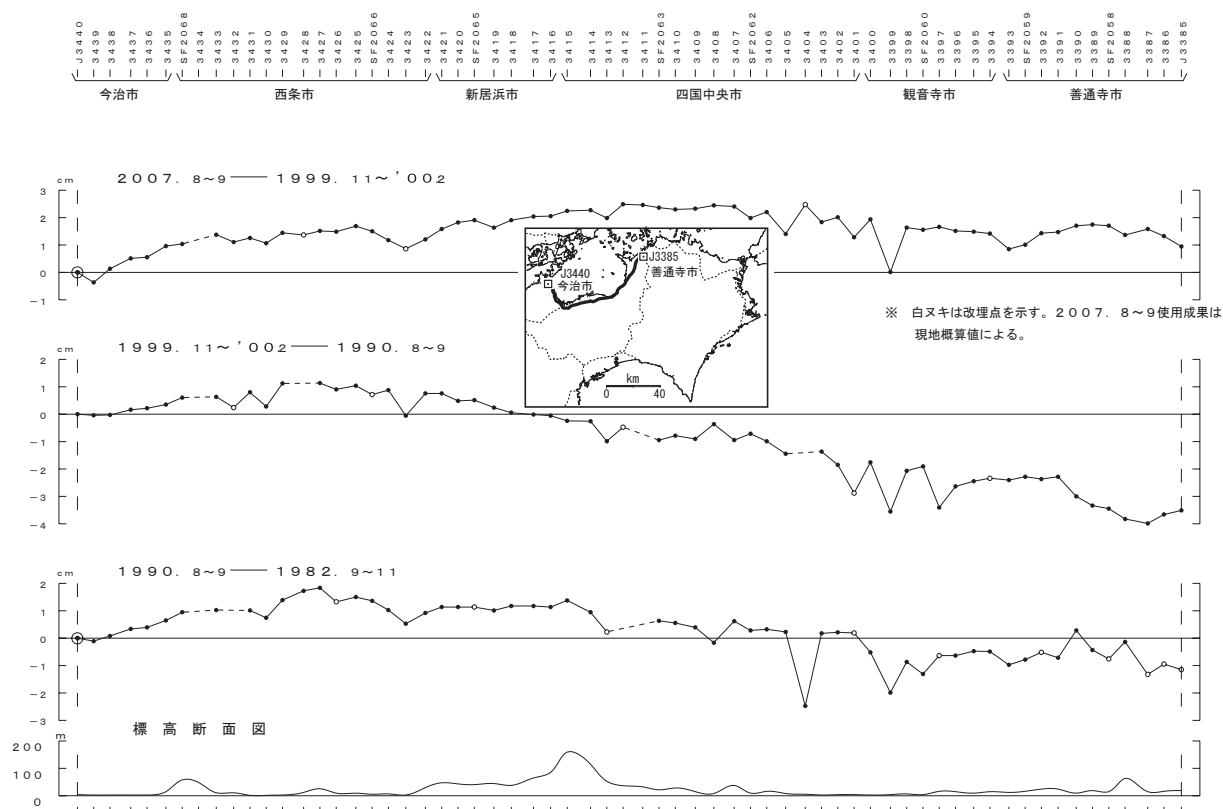


Fig. 1b Vertical crustal movement by precise leveling survey between Inage city and Imabari city (2).

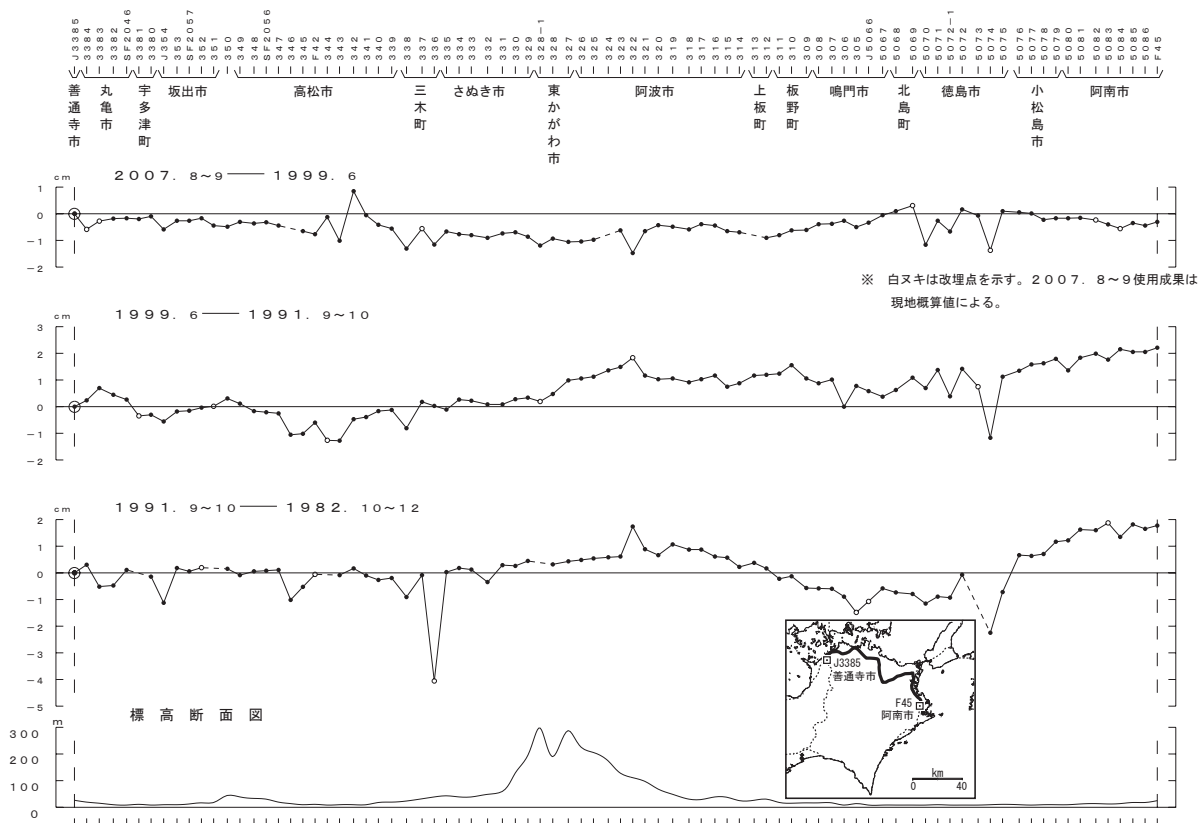
今 治 市 ～ 善 通 寺 市 間 の 上 下 変 動



第 2 図 水準測量による今治市～善通寺市間における上下変動

Fig.2 Vertical crustal movement by precise leveling survey between Imabari city and Zentsuji city.

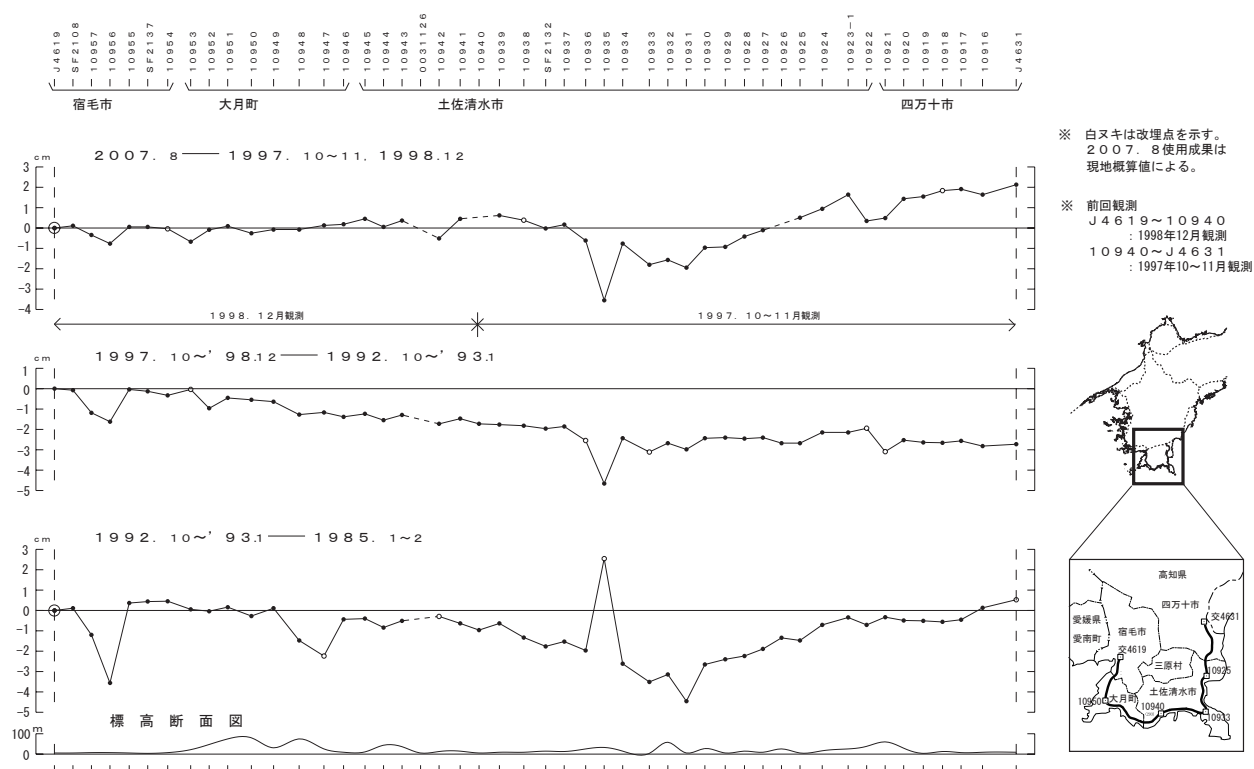
善 通 寺 市 ～ 阿 南 市 間 の 上 下 変 動



第 3 図 水準測量による善通寺市～阿南市間における上下変動

Fig.3 Vertical crustal movement by precise leveling survey between Zentsuji city and Anan city.

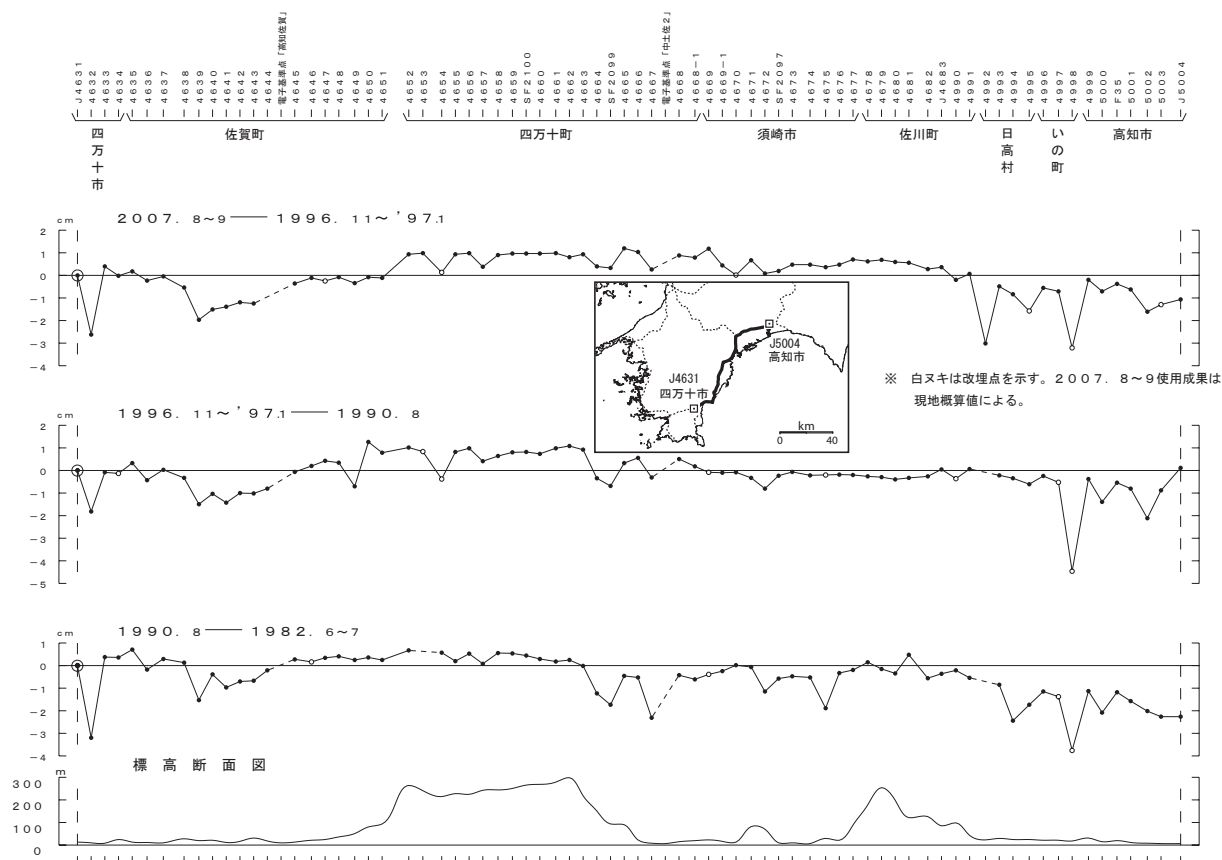
宿毛市～四万十市間の上下変動



第4図 水準測量による稲毛市～四万十川市間における上下変動

Fig.4 Vertical crustal movement by precise leveling survey between Inage city and Shimantogawa city.

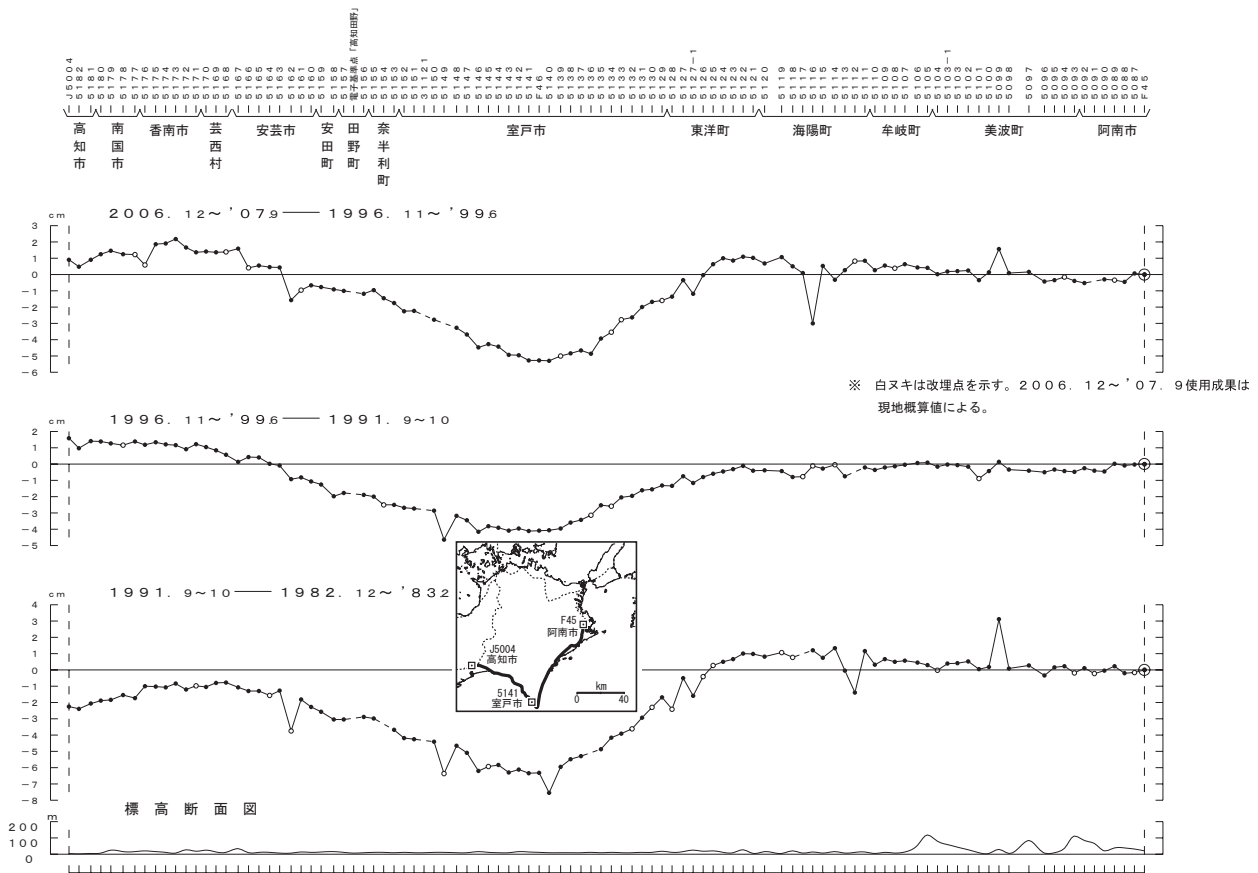
四万十市～高知市間の上下変動



第5図 水準測量による四万十川市～高知市間における上下変動

Fig.5 Vertical crustal movement by precise leveling survey between Shimantogawa city and Kochi city.

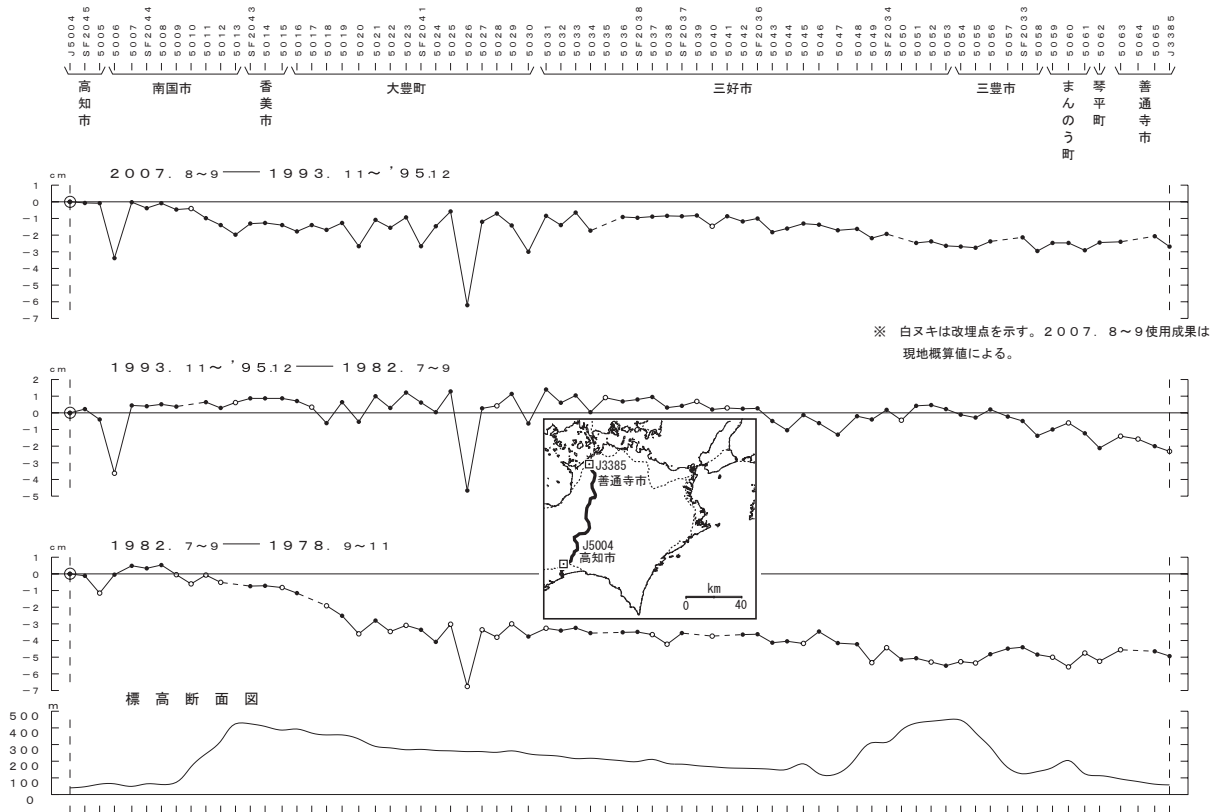
高知市～阿南市間の上下変動



第6図 水準測量による高知市～阿南市間における上下変動

Fig.6 Vertical crustal movement by precise leveling survey between Kochi city and Anan city.

高知市～善通寺市間の上下変動

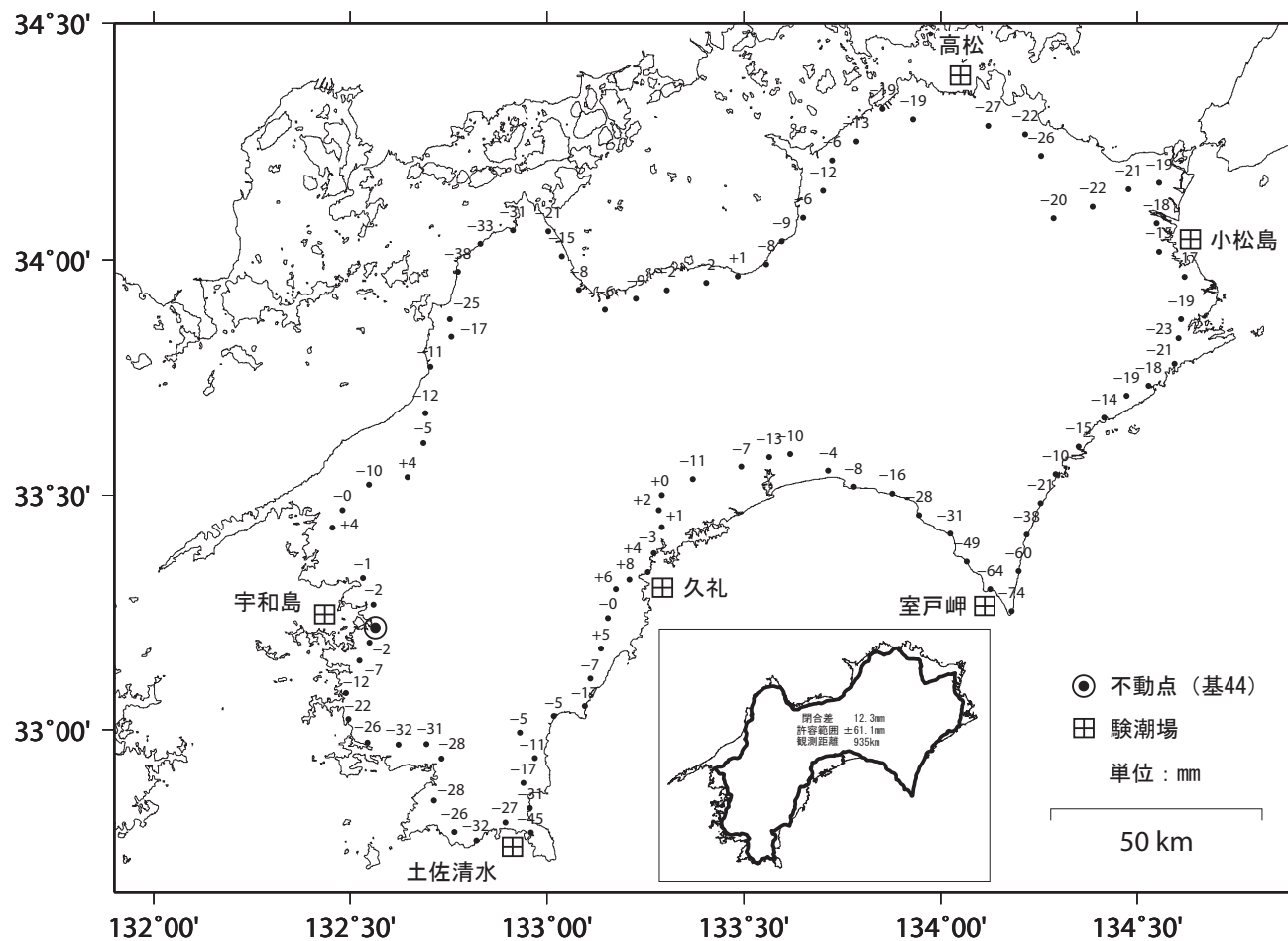


第7図 水準測量による高知市～善通寺市間における上下変動

Fig.7 Vertical crustal movement by precise leveling survey between Kochi city and Zentsuji city.

四国地方の上下変動

1996~2000 — 2006~2007



第8図 四国地方の上下変動

Fig.8 Vertical crustal movement by precise leveling survey in Shikoku districts.